

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
青海地区

平成30年10月

新潟県糸魚川市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4- 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	安全に通行できる人数の増加率	%	0	36.2	38.7	確定	あり	-	38.6	H30年4月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	(市)三峰線を含む4路線の改修により、生活道路や通学路の安全な通行環境が創出され、住民や通学児童等の道路通行時の安全性が向上した。
指標2	避難所となる公園の未整備率	%	4.1	2.0	2.0	確定	あり	-	-	H 年月	-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	-
指標3	地域環境美化活動参加者数	人	2,700	3,000	3,300	確定	あり	-	3,300	H30年4月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	海岸清掃や緑化等の環境美化活動に主体的に取り組む住民に対し、活動を支援したことにより、環境美化活動への参加者が増加した。このことが一つの要因となり、住民意識が向上し、まちづくり活動への参加者の増加がみられた。
指標4						確定	あり			H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
指標5						確定	あり			H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4- その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定				H 年月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定				H 年月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定				H 年月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	安全で快適な歩行空間の維持	安全な歩行空間を維持するための改修工事の実施	区画線設置及び既設側溝への蓋掛けをすることで、安全に歩行することが可能となった。	まだ未整備路線があることから、引き続き改修工事に取り組む必要がある。
	地域の防災力向上に向けた取り組み	糸魚川市総合防災訓練での竹のからかい広場の利用 木造住宅密集地区防災事業ワークショップの実施	竹のからかい広場を避難所として位置付け、当該広場で防災訓練などの活動で利用することにより防災意識の向上が図られた。	今後も防災イベントや避難訓練を実施し、住民の防災意識の向上を目指す。
	住民主体のまちづくり活動の意識啓発	まちやどシンポジウムやリノベーションまちづくりシンポジウムの実施	シンポジウムに多く住民が参加することで、住民の中に「まちづくり」に対する興味と意識の向上がみられた。	まちづくりの担い手となる人材を掘り起こすための活動を行い、地域コミュニティの活性化や持続可能なまちづくりを推進していく必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項